



KANOMAX
The Ultimate Measurements

工業用風速變換器

Model 6313

(6313-00・6313-01)

取扱説明書

構成品目

■ 標準品

モデル	品名	個数	機能
6313-00	6313 プロブケーブル 0.5m	1	風速値のアナログ出力
	メイン基板	1	風速演算処理部基板
	取扱説明書	1	本書

モデル	品名	個数	機能
6313-01	6313 プロブケーブル 3m	1	風速値のアナログ出力
	メイン基板	1	風速演算処理部基板
	取扱説明書	1	本書

ご使用いただく前に

当社では取扱説明書の中での警告の種類と定義を以下のように定めています。

表示の説明



警告：人身事故防止用

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人身事故の発生する危険が想定される内容を示しています。



注意：製品損傷防止用

この表示を無視して誤った取扱いをすると、製品に物的損傷を与えるか、性能保証できない場合が想定される内容を示しています。

記号の説明



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止事項（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制・指示する内容を告げるものです。図の近傍に具体的な指示内容が描かれています。



警告



使用禁止

可燃性のガスのある場所に、絶対にプローブを近づけないでください。
風速素子部が加熱されているため、発火・爆発の危険性があります。



接触禁止



高温注意

風速素子部には絶対に触れないでください。
風速素子部は加熱されていますので、触れると火傷する危険があります。
また、風速素子部の損傷にもなりますので絶対に触れないでください。



使用禁止

指定の電源電圧を使用してください。
感電、発火の要因となります。



注意



禁止

蒸気のある場所で使用しないでください。
風速素子部が水滴に触れると熱の放散量が変化し、正しい測定ができません。
また、風速素子部を損傷する原因となります。



禁止

本体は、ほこりや異物の無い清浄な空気流の中で使用する事を想定していません。
風速素子部に異物がぶつかる事で素子が損傷する原因となります。
また、風速素子部にほこりや異物が付着すると、正しい測定が出来ません。



禁止

風速素子部には無理な力を加えないでください。
風速素子部が変形すると、精度が維持できないばかりか、風速素子部が断線することがあります。



禁止

本体を高温多湿・ホコリの多い場所における測定または、直射日光のもと長時間、放置しないでください。
動作温度範囲外では正常に動作しない場合があります。



禁止

本体または、プローブに強いショックを与えないでください。
落下させたり、ぶつけたり等しますと故障・破損の原因となります。



分解禁止

分解・改造・修理は絶対しないでください。
ショート、および性能維持ができない原因となります。



禁止

プローブケーブルを持って、本体を吊り下げないでください。
故障・断線の原因となります。



禁止

お手入れの際、シンナー・ベンジン等の溶剤で本体を拭かないでください。
ケースが変形・変質する恐れがあります。汚れたときは、柔らかい布で乾拭きして
ください。また、汚れがひどい場合には、中性洗剤を含ませた布で乾拭きしてくだ
さい。



禁止



帯電注意

帯電した状態で、風速素子部を触らないで下さい。
測定値に影響を与えたり、本体回路破損の原因になったりします。



禁止



正しく取扱う

定期的にプローブの先端をチェックし、汚れていないかを確認してください。
風速素子部にゴミが付着していると測定精度に影響します。
ゴミを取り除く場合はカメラ用のブロアブラシ等で軽く吹き飛ばすか、あるいは水で
軽くすすいで十分に乾燥させてください。
※風速素子部を洗浄するときは、本体の電源を必ず切ってからおこなってくだ
さい。
※熱を使ってプローブを乾燥させることは絶対におこなわないでください。(風速素
子部が損傷し、修復不可能となります。)



禁止

結露の原因となるため、本体及びプローブは寒いところから急に暖かいところに移
動させないで下さい。

適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、急激な温度変化により結露する
事があります。結露は風速素子部に発生すると正しく測定できない事がありま
す。また、金属部分に結露すると、錆が発生し故障の原因となる可能性があり
ます。



禁止

表示部を尖った物や強い力で押さえないで下さい。
画面ムラや故障の原因となります。
また、急激な温度変化も、表示部故障の原因となります。



正しく取扱う

保管する場合は-10～50℃の結露しない場所に保管して下さい。



禁止

廃棄の際は、一般ゴミと一緒に捨てないで下さい。
計測器を廃棄する際は、国又は地方自治体の条例に従って下さい。または販
売代理店までお問い合わせ下さい。

目次

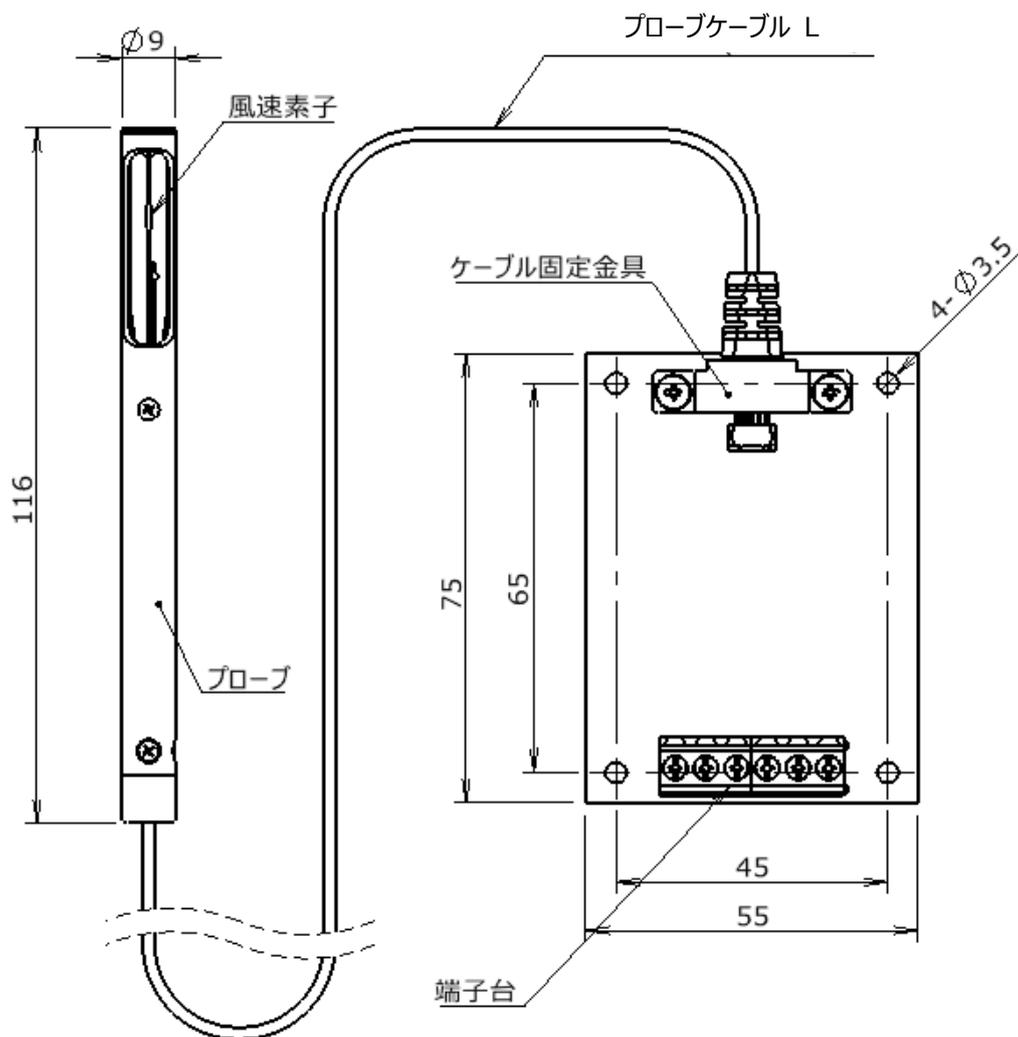
構成目	i
ご使用いただく前に	ii
目次	v
第1章 製品外観	6
1-1. 各部の名称と寸法	6
第2章 使用方法	7
2-1. 基本的な使い方	7
2-2. プローブケーブルの脱着	8
第3章 主な仕様	9
第4章 故障かなと思ったら	10
プローブの洗浄	11
第5章 製品保証とアフターサービス	12
第6章 お問い合わせ先	13

第1章 製品外観

1-1. 各部の名称と寸法

単位：mm

モデル	長さ L (m)
6313-00	0.5
6313-01	3.0

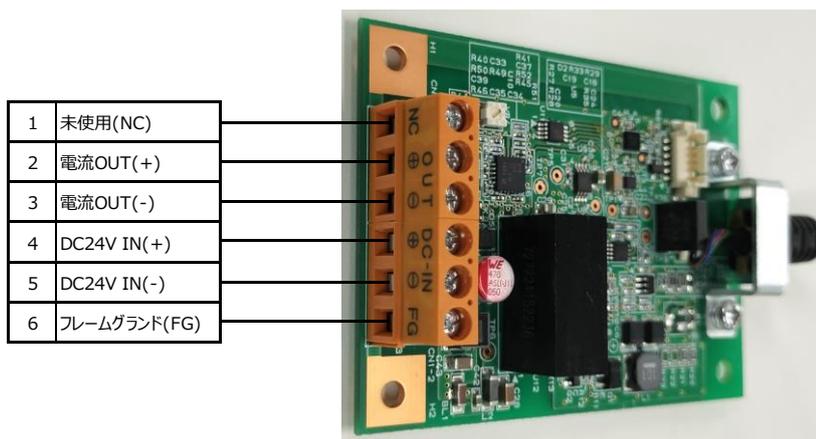


- ❗ 工場出荷時はプローブが本体に接続された状態です。使用環境に設置する際にプローブを取り外す必要がある場合は、“2-2 プローブケーブルの脱着”に従ってください。
- ❗ 本体の $\phi 3.5$ 穴の配置は Model6312 と同じです。そのため、Model6312 に置き換えて設置することが可能です。

第2章 使用方法

2-1. 基本的な使い方

基板端子台に電流出力用ケーブル、電源ケーブルを差し込み、ネジを締めて固定してください。
接続ケーブルサイズは、 $0.5\sim 1.5\text{ mm}^2$ (AWG20~AWG16) の電線を使用してください。



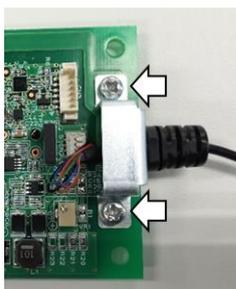
 ケーブルの接続及び取り外しは電源供給が遮断されている状態で実施してください。

2-2. プローブケーブルの脱着

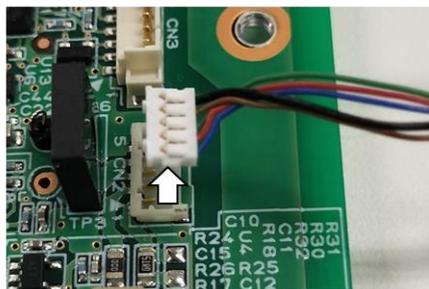
プローブは以下の手順で脱着することができます。

【プローブケーブルの外し方】

(1) プラスドライバーで
ネジを外してください。

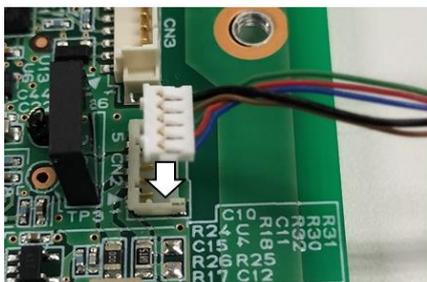


(2) コネクタを真上に持ち上げ
引き抜いてください。

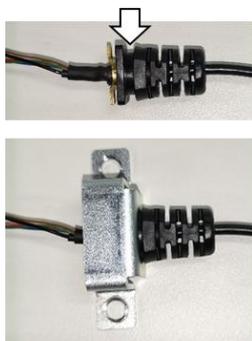


【プローブケーブルの接続】

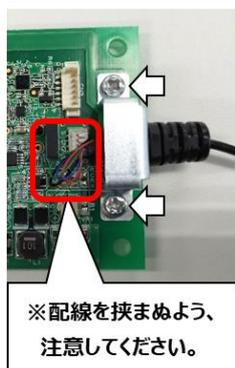
(1) コネクタを真上からしっかりと押し込んでください。
※表裏を確認し、しっかりと差し込んでください。



(2) ケーブルの樹脂部の溝に
固定金具を組み合わせる



(3) プラスドライバーでネジを回して
固定金具を基板に固定してください。



- ❗ ケーブルの接続及び取り外しは電源供給が遮断されている状態で実施してください。
- ❗ プローブと本体基板はセットで校正されています。必ず同じ組み合わせで使用してください。
- ❗ Model6312 とのプローブ・本体との互換性はございません。Model6313 のプローブ・本体の組み合わせで使用ください。

第3章 主な仕様

製品名称	風速変換器
Model	6313-00 (プローブケーブル 0.5m)
	6313-01 (プローブケーブル 3m)
測定対象	常温/常湿の清浄な空気
風速測定範囲	0.1~2m/s
測定精度	±0.15m/s
温度補償範囲	18 ~ 28℃
外部出力	アナログ電流出力 DC 4 ~ 20mA (最大負荷 : 250Ω)
電源電圧	DC 24V ±4V
最大消費電力	約 3.1W (DC24V、130mA)
接続電線サイズ	0.5 ~ 1.5 mm ² (AWG20~AWG16)
使用環境	5 ~ 40 °C 結露なし
保管環境	-10 ~ 50 °C 結露なし
外径	約 55(W)×75(D)×23(H)mm
重量	約 90g
付属品	取扱説明書 : 1 冊
保証期間	ご購入から 1 年間

第4章 故障かなと思ったら

修理に出す前に、以下の項目について確認してください。

症状	考えられる原因	処置
出力が出ていない	本体への電源供給が遮断されている。	本体への電源供給を接続してください。
	端子台のネジが適切に締められていない。	端子台のネジを締め直してください。
	配線を間違えている。	正しく配線してください。
	プローブ（またはケーブル）の接続を間違えている。	電源を切り、プローブやケーブルを確認して、もう一度電源を入れてください。
	出力端子が汚れている。	出力端子の汚れを取り除いてください。
出力異常	プローブが正しく接続されていない。	電源を切り、プローブやケーブルの接続状態を確認してから、もう一度電源を入れてください。
	プローブが汚れている。	指定された方法に従い、プローブを洗浄してください。
	計測値が計測範囲を超えている。	計測範囲設定や使用するプローブを見直してください。
	FG（GND 端子）のアースが接続されていない。	FG(GND 端子)のアース接続状態を確認してください。

プローブの洗浄

風速素子部にゴミ(粉じん、煤煙)や、機械油などが付着すると、奪われる熱量(放散熱量)が変化し、風速指示値に影響を与えます。

汚れた環境下で測定され、風速素子部に汚れが付着した場合は測定後に洗浄しておくことをお勧めします。

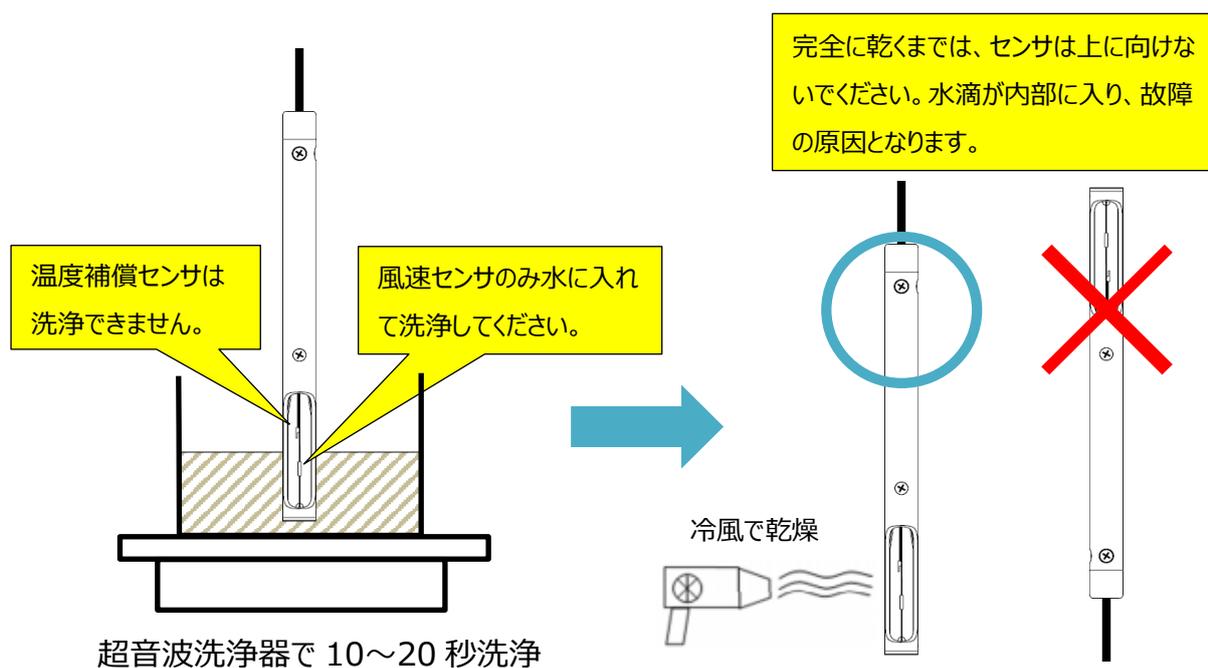
洗浄方法

風速素子部を**超音波洗浄器**で**10～20秒程度**洗浄してください。あまり長く洗浄すると、風速素子部のコーティングの破損につながります。

洗浄液は通常の水を使用してください。水で薄めた中性洗剤を容器に入れ、振り洗いしていただいても結構です。

！注意！

- ！) プローブには何も接続していない状態で洗浄してください。
- ！) 洗浄後はよく乾燥させてから、風速変換器に接続してください。
- ！) 温度補償センサは洗浄できません。



製品保証

- ◆ 当社では、製品保証書を発行しておりません。
製品には登録カードが添付されておりますので、ご購入の際は必ずご確認ください。
登録カードの記載内容に従って製品登録されますと、当社にて保証管理を開始いたします。
なお、ご登録なき場合は保証しかねる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 保証期間は電池などの消耗品を除き、原則としてご購入日から1年間です。
- ご利用に伴う計測精度の劣化は保証対象外となります。
- ご使用環境や計測頻度によっても異なりますが、年1回の定期校正を推奨いたします。

アフターサービス

- ◆ 具合の悪いときはまずチェックを…
“故障かな？”の項をお読みになり、故障かどうか、お確かめください。
- ◆ それでも調子の悪いときは当社サービスセンターへ…
販売元の日本カノマックス(株) サービスセンター、または、お近くの弊社営業所（最終ページ参照）、もしくは、お買い上げの店に、ご連絡ください。
- ◆ 保証期間中での修理は…
当社の製造上、回路部品、材質などの原因によって故障が発生した場合は、無料で修理させていただきます。
- ◆ 保証期間が経過した後の修理は…
修理によって、機能、及び精度が維持できる場合は、ご要望にしたがって有償修理させていただきます。
- ◆ 修理部品の保有期間について…
修理部品は、生産中止後、最低5年間保有いたします。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。詳しくは当社サービスセンターへ、ご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- * 製品名
- * 型名
- * 器番
- * 故障の状況
- * ご購入年月



KANOMAX
The Ultimate Measurements

日本カノマックス株式会社

〒565-0805 大阪府吹田市清水 2 番 1 号

この製品に関するお問い合わせ

カスタマーサポート

TEL 0120-009-750

E-mail: environment@kanomax.co.jp

修理に関するお問い合わせ

サービスセンター

TEL 0120-981-959

E-mail: service@kanomax.co.jp

□ **東京営業所**

〒105-0013 東京都港区浜松町 2 丁目 6 番 2 号

TEL: (03) 5733-6023 FAX: (03) 5733-6024

□ **大阪営業所**

〒565-0805 大阪府吹田市清水 2 番 1 号

TEL: (06) 6877-0447 FAX: (06) 6877-8263

□ **名古屋営業所**

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-7-26 丸の内 ACA ビル 603 号室

TEL:(052)953-5660 FAX: (052)953-5661

日本カノマックス株式会社 ©2023

無断転載を禁じます。

本書の内容は、断り無く変更することがあります。

02001/2312



KANOMAX
The Ultimate Measurements